

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月31日

事業所名：放課後等デイサービス プログラミング療育放デイ エスタシオン 木更津教 対象人数（保護者）77人 回答者数 42人 回収
室 54.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	2		1		引き続き利用者が安心安全に活動が出来るように教室環境やグルーピング等を整えています。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	38			4		既定の配置にしている。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	10	1	4	廊下や階段が滑りやすそうですが、利用中は靴下を脱ぐ等のルールがあるのであれば良いのかな？と思います。バリアフリーではない。時計が見えにくいとのことです。	事業所内の環境についてケガのリスクがある箇所をまとめ適宜修繕に向けていく。利用者に対しては環境に適した行動が出来るようにし事業所内でサポート体制を整えていく。時計に関して、支援状況や教室環境を鑑みて適所に設置していけるように検討していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	1				毎日の清掃と重点的清掃を定期的実施することで利用者が心地よく過ごせる清潔な環境を整えていく。
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	4			人によってばらつきがあるように感じる。	利用者情報や支援等について職員間で情報共有を徹底していく。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39		1	2		HPで公表している支援プログラムに沿って各計画書作成しサービス提供を行っている。
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	39	2	1		親のニーズは汲み取ってもらえているが、あくまでこちらの話に合わせていただけの感じで、エスタシオンとして、専門的な方からみでの本人の課題や分析はない。	専門的アセスメントに基づく具体的なアプローチを強化し保護者に対して適切に説明をしていく。利用者の行動の背景にある特性を専門的な指標で評価し、「強み」と「課題」を提示していく。保護者及び利用者のニーズ達成に向けて、どのような段階が必要なのか、根拠に基づいた具体的なサービス内容等を提示していく。
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ	37	3		2	放デイのガイドラインがある事を初めて耳にしました。ただ、本人、家族、移行支援については説明を聞いているので、適切に設定されていると思います。	保護者に対して各ガイドラインについてなど、サービスに関連する情報を適宜共有していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	れていると思いますか。						
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	3		1	人によって報告の仕方にばらつきがありなんとも言えない。	活動状況報告の方法について再周知させると共に必要に応じて再検討していく。
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	7	1	2		提供するサービスについて事業所内で定期的に協議する場を設定することで日々の活動プログラムのアップデートを図っている。
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	7	14	16	求めています。	
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	3	1		維持管理費の値上げの際に事前に相談が欲しかった。	利用者負担額引き上げについて各ツール(LINEや教室内掲示資料等)にて共有するほか、新たな共有方法を検討していく。保護者のご希望に応じて相談できる場を設定していく。
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39		3		作成前に面談はあり、こちらが思う課題を汲み取り作成はしていたのだが、エスタシオン側としての専門的な分析や面談の結果どんな方向性で支援をしていくかの説明はなく出来上がったものを見てサインするのみ。	個別支援計画書等の同意に向けた説明の仕組みについて検討していく。
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	11	4	9		今年度に引き続き、来年度以降もご家族が参加できるイベント等の企画を計画していく。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	41	1			人によって差があるように感じる。送迎時に〇〇をして楽しそうでした。で終わる方と特性踏まえたいで話してくださる方がいる。前者の方の場合だと楽しむためだけに通所しているわけではないのにな、という気持ちになる。	活動状況報告の方法について再周知させると共に必要に応じて再検討していく。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	4				各情報共有ツールやご利用時の送迎の際に必要な応じてご自宅等の様子を聴取し助言を行っている。相談内容によっては別途面談日を設定して支援を行っている。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	5				事業所内スタッフと支援感等について再度共有しご家族や利用者へ寄り添いながら支援を行う。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	6	13	10	13	保護者同士の交流を求めています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	た、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19) こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	3	1	3		ご家族等に対してサポートの強化を図るとともにサポート体制についての周知や説明を進められるように協議し再整備していく。
	20) こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	1				
	21) 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	39	1		2		Instagram等のSNSを活用して発信を行っている。
	22) 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41			1		
非常時等の対応	23) 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	3	1	7	避難訓練はやっているが、それぞれのマニュアルが保護者に説明はされていない。	各マニュアルについて随時確認出来るように共有ツールシステムで閲覧できるように改善する。
	24) 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39			3		毎年全職員に向けて各研修や訓練等を実施している。また、利用者を含めた訓練も活動中に実施している。
	25) 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	3			6	利用者の安全確保に関連する各マニュアルについて随時確認出来るように共有ツールシステムで閲覧できるように改善する。
	26) 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	3			12	発生したことがありません。事故が無かった為こういった事例はなかったからわかりかねます。
満足度	27) こどもは安心感をもって通所していますか。	40	2				
	28) こどもは通所を楽しみにしていますか。	39	1	2		とても楽しみにしています	今後も利用者が楽しみに通所できるような環境を整えていく。
	29) 事業所の支援に満足していますか。	39	3				当事業所のサービスを満足いただけるように事業所内で日々サービスのアップデートを図っていく。また、ご家族や利用者からのご要

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
							望等を聴取する機会を設けることで、よりサービスの質が向上していくように取り組んでいく。
プログラミング療育について	㉑ エスタシオンのプログラミング療育は生活の中で役に立っていますか。	36	5		1		面談や送迎の時間を活用してご家族や利用者プログラミング療育についてや、プログラミング療育で得られた成果等を共有することでご自宅でも活かせるようにサポートを行っている。
	㉒ プログラミング活動を楽しみにして通所していますか。	38	3	1			

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。